

文学国語 学習指導案 (3 時間目 / 4 時間中)

科目名	文学国語	単元名	月が象徴するものをいろいろな角度から読み取ろう。	
本時の目標	設定した題材に関連する複数の作品などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。			
本時で取り上げる 主な言語活動	「月」をテーマとし、メタファーを理解するために、古典から現代文まで、幅広い作品を比べ読みして交流する。			
教材	『静夜思』、『月夜』、『月やあらむ』『三日月』		実施対象	第2学年
本時における評価の観点、評価 規集、評価方法	本時の評価の観点	本時の評価規準		本時の評価方法
	思・判・表 読むこと	・読むことにおいて設定した題材に関連する 複数の作品の読み取りを基に、自分のもの の見方感じ方、考え方を深めている。		記述の分析 (授業レポートの分析)
学習活動 (言語活動)	指導上の留意点			評価の実際
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・前時でそれぞれのグループでレポート作成したことを確認する。 ・本時の目標を提示する。 			
確認	本時のゴール：各作品の「月」が何のメタファーになっているかを読み取ることで、文学作品におけるメタファーの読解ができ、それを説明する文章を作成できる。			
展開 (35分)	展開Ⅰ 各グループで4つの文学作品の研究結果を発表する。グループ発表 が終わったら、教師が簡単に要点をまとめる。 『静夜思』…望郷の思い 『月夜』…遠く離れた人に思いを馳せる 『月やあらむ』…時間の経過 不変性 『三日月』…遠く離れた人に思いを馳せる 予想される読み 発問：なぜ『月』で表現しなければいけなかったと思いますか。 『月』でなければいけない理由をジャムボードで交流し、確認する 予想される生徒の答え：平等に照らすから、どこからでも見られる から、ずっとあるものだから、温かい印象を持っているから等 発問：『太陽』と『月』だと、どんな違いがでるでしょうか。ジャ ムボードにまとめてみましょう。 予想される生徒の答え：太陽はとにかく明るいけど、月はおしとや かな感じ等 ※ジャムボードで『月』と『太陽』の共通点、相違点を明らかにす る。そうすることで、「遠くの人に思いを馳せる」などは、太陽で はそくわないことを確認する。			
① 班ごとにレポート発表を する。(班ごとに全体に 向けて発表する) 各班3分、正味15分				
② なぜそのメタファーで表 現するのかを考える。				
③ 特徴とメタファーは関係 していることに気づく。				
④ 生徒のレポートに立ち返 る。				

<p>まとめ（5分）</p> <p>○文学作品において象徴性やメタファーが多くあることを伝え、他の作品にはどのような象徴性が隠れているかをレポートにまとめる。</p>	<p>○レポートの作成をする。次の時間は自習になるため、その指示をする。横光利一の「蠅」に示される象徴性をレポートにまとめる。</p>	<p>レポートの提出</p> <p>評価の規準：思・判・表「読むこと」</p> <p>A 蠅の特徴と、何の象徴なのかを明確に記述されており、その関連性を軸しながら論理的な記述ができる。</p> <p>B 蠅の特徴と何の象徴なのかを書いてあり、どの部分がメタファーなのかを説明している。</p> <p>C 記述量が足りず、蠅の特徴やその象徴性について記述が不十分である。</p>
---	---	--